

高岡市民病院事業会計

高岡市民病院事業会計

1 業務状況

令和6年度の延患者数は 250,505 人で、前年度に比べ 3,715 人(1.5%)増加している。そのうち入院患者数は 87,938 人で、前年度に比べ 3,166 人(3.7%)増加し、外来患者数は 162,567 人で、前年度に比べ 549 人(0.3%)増加している。

また、病床利用率は 65.6%で、前年度に比べ 3.5 ポイント上昇している。

(1) 業務実績

区 分	単位	令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		
					増減C(A-B)	率C/B(%)	
病床数	床	343	373	373	△ 30	△ 8.0	
一般病床	床	283	305	305	△ 22	△ 7.2	
精神病床	床	42	50	50	△ 8	△ 16.0	
結核病床	床	12	12	12	0	—	
感染症病床	床	6	6	6	0	—	
診療日数	入院	日	365	366	365	△ 1	△ 0.3
	外来	日	243	243	243	0	—
延患者数	人	250,505	246,790	261,856	3,715	1.5	
年間入院患者数	人	87,938	84,772	90,308	3,166	3.7	
1日平均入院患者数	人	240.9	231.6	247.4	9.3	4.0	
年間外来患者数	人	162,567	162,018	171,548	549	0.3	
1日平均外来患者数	人	669.0	666.7	706.0	2.3	0.3	
病床利用率	%	65.6	62.1	66.3	3.5		
一般病床	%	72.2	66.5	71.3	5.7		
精神病床	%	47.2	51.5	48.0	△ 4.3		
結核病床	%	0.3	25.0	49.8	△ 24.7		
感染症病床	%	0.0	0.0	0.0	0.0		
職員数	人	468	465	485	3	0.6	
平均在院日数	日	11.6	11.9	12.5	△ 0.3	△ 2.5	

(注) 1 病床数は、令和6年7月16日以降、365床(精神病床8床減)、令和7年3月28日以降、343床(一般病床22床減)

2 病床利用率 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$

3 職員数(各年度末現在)には、会計年度任用職員は含まれていない。

(2) 科別入院患者数比較表

(単位:人・%)

科名	入院患者数					1日平均患者数			
	令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		令和6年度 D	令和5年度 E	令和4年度	前年度との比較 D-E
				増減 C(A-B)	率C/B				
内科	27,003	23,362	29,452	3,641	15.6	74.0	63.8	80.7	10.2
脳神経内科	4,701	6,032	6,241	△ 1,331	△ 22.1	12.9	16.5	17.1	△ 3.6
消化器内科	12,679	12,708	12,759	△ 29	△ 0.2	34.7	34.7	35.0	0.0
精神神経科	7,643	9,457	8,764	△ 1,814	△ 19.2	20.9	25.8	24.0	△ 4.9
小児科	1,239	979	569	260	26.6	3.4	2.7	1.6	0.7
外科	8,135	6,883	7,161	1,252	18.2	22.3	18.8	19.6	3.5
胸部・血管外科	0	0	659	0	—	0.0	0.0	1.8	0.0
整形外科	12,784	11,002	10,446	1,782	16.2	35.0	30.1	28.6	4.9
脳神経外科	90	81	55	9	11.1	0.2	0.2	0.2	0.0
皮膚科	167	304	262	△ 137	△ 45.1	0.5	0.8	0.7	△ 0.3
形成外科	844	842	511	2	0.2	2.3	2.3	1.4	0.0
泌尿器科	5,396	5,075	4,128	321	6.3	14.8	13.9	11.3	0.9
産婦人科	969	3,084	4,491	△ 2,115	△ 68.6	2.7	8.4	12.3	△ 5.7
眼科	3,193	2,486	2,078	707	28.4	8.7	6.8	5.7	1.9
耳鼻咽喉科	388	430	413	△ 42	△ 9.8	1.1	1.2	1.1	△ 0.1
放射線科	0	0	0	0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	454	428	643	26	6.1	1.2	1.2	1.8	0.0
麻酔科	33	81	40	△ 48	△ 59.3	0.1	0.2	0.1	△ 0.1
リウマチ科	165	142	160	23	16.2	0.5	0.4	0.4	0.1
リハビリテーション科	0	0	0	0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
感染症内科	0	0	0	0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
緩和ケア内科	2,055	1,396	1,476	659	47.2	5.6	3.8	4.0	1.8
計	87,938 (365)	84,772 (366)	90,308 (365)	3,166	3.7	240.9	231.6	247.4	9.3

(注) ()内は、各年度の診療日数である。

年間入院患者数は延 87,938 人で、前年度に比べ 3,166 人(3.7%)増加している。

1日平均患者数は 240.9 人で、前年度に比べ 9.3 人増加している。前年度に比べ増加した科は内科、整形外科、外科等で、減少した科は産婦人科、精神神経科、脳神経内科等である。

(3) 科別外来患者数比較表

(単位：人・%)

科名	外来患者数					1日平均患者数			
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	前年度との比較		令和6年度	令和5年度	令和4年度	前年度との比較 D-E
	A	B		増減 C(A-B)	率C/B	D	E		
内科	27,194	28,352	32,691	△ 1,158	△ 4.1	111.9	116.7	134.5	△ 4.8
脳神経内科	4,818	5,148	5,080	△ 330	△ 6.4	19.8	21.2	20.9	△ 1.4
消化器内科	12,495	12,581	14,245	△ 86	△ 0.7	51.4	51.8	58.6	△ 0.4
精神神経科	13,921	15,196	14,860	△ 1,275	△ 8.4	57.3	62.5	61.2	△ 5.2
小児科	3,427	2,791	2,872	636	22.8	14.1	11.5	11.8	2.6
外科	8,353	8,467	9,479	△ 114	△ 1.3	34.4	34.8	39.0	△ 0.4
胸部・血管外科	299	460	1,525	△ 161	△ 35.0	1.2	1.9	6.3	△ 0.7
整形外科	10,500	9,850	10,891	650	6.6	43.2	40.5	44.8	2.7
脳神経外科	2,861	3,235	3,432	△ 374	△ 11.6	11.8	13.3	14.1	△ 1.5
皮膚科	6,679	6,117	6,387	562	9.2	27.5	25.2	26.3	2.3
形成外科	3,049	3,292	3,521	△ 243	△ 7.4	12.5	13.5	14.5	△ 1.0
泌尿器科	10,106	10,085	10,180	21	0.2	41.6	41.5	41.9	0.1
産婦人科	5,652	7,420	8,589	△ 1,768	△ 23.8	23.3	30.5	35.3	△ 7.2
眼科	12,550	10,232	9,652	2,318	22.7	51.6	42.1	39.7	9.5
耳鼻咽喉科	2,108	2,062	2,492	46	2.2	8.7	8.5	10.3	0.2
放射線科	3,199	3,439	3,672	△ 240	△ 7.0	13.2	14.2	15.1	△ 1.0
歯科口腔外科	5,712	5,345	5,512	367	6.9	23.5	22.0	22.7	1.5
麻酔科	1,980	2,144	2,305	△ 164	△ 7.6	8.1	8.8	9.5	△ 0.7
リウマチ科	2,359	1,841	2,033	518	28.1	9.7	7.6	8.4	2.1
リハビリテーション科	24,935	23,818	21,993	1,117	4.7	102.6	98.0	90.5	4.6
感染症内科	0	0	0	0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
緩和ケア内科	370	143	137	227	158.7	1.5	0.6	0.6	0.9
計	162,567 (243)	162,018 (243)	171,548 (243)	549	0.3	669.0	666.7	706.0	2.3

(注) ()内は、各年度の診療日数である。

年間外来患者数は延162,567人で、前年度に比べ549人(0.3%)増加している。

1日平均患者数は669.0人で、前年度に比べ2.3人増加している。前年度に比べ増加した科は眼科、リハビリテーション科、整形外科等で、減少した科は産婦人科、精神神経科、内科等である。

(4) 科別入院診療収入比較表

(単位：診療収入：千円・%、患者1人1日当たり診療収入：円)

科名	令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		患者1人1日当たり診療収入			
				増減 C(A-B)	率C/B	令和6年度 D	令和5年度 E	令和4年度	前年度との 比較 D-E
内科	1,558,784	1,474,107	1,673,024	84,677	5.7	57,726	63,098	56,805	△ 5,372
脳神経内科	217,264	277,037	298,821	△ 59,773	△ 21.6	46,216	45,928	47,880	288
消化器内科	745,950	719,354	731,425	26,596	3.7	58,834	56,606	57,326	2,228
精神神経科	162,254	177,802	165,947	△ 15,548	△ 8.7	21,229	18,801	18,935	2,428
小児科	63,052	51,017	31,023	12,035	23.6	50,890	52,111	54,522	△ 1,221
外科	639,102	549,647	561,705	89,455	16.3	78,562	79,856	78,439	△ 1,294
胸部・血管外科	0	0	46,868	0	—	0	0	71,120	0
整形外科	795,644	705,579	703,305	90,065	12.8	62,237	64,132	67,328	△ 1,895
脳神経外科	16,458	11,039	9,385	5,419	49.1	182,868	136,281	170,635	46,587
皮膚科	6,866	10,382	9,614	△ 3,516	△ 33.9	41,115	34,152	36,696	6,963
形成外科	34,665	31,548	24,256	3,117	9.9	41,072	37,468	47,468	3,604
泌尿器科	353,414	360,245	263,989	△ 6,831	△ 1.9	65,496	70,984	63,951	△ 5,488
産婦人科	121,971	283,874	357,018	△ 161,903	△ 57.0	125,873	92,048	79,496	33,825
眼科	347,828	268,851	231,075	78,977	29.4	108,935	108,146	111,200	789
耳鼻咽喉科	27,491	29,087	27,797	△ 1,596	△ 5.5	70,854	67,643	67,304	3,211
放射線科	0	0	0	0	—	0	0	0	0
歯科口腔外科	34,930	29,549	40,641	5,381	18.2	76,939	69,040	63,206	7,899
麻酔科	7,919	11,836	10,339	△ 3,917	△ 33.1	239,970	146,125	258,472	93,845
リウマチ科	6,193	6,366	7,088	△ 173	△ 2.7	37,535	44,828	44,300	△ 7,293
リハビリテーション科	0	0	0	0	—	0	0	0	0
感染症内科	0	0	0	0	—	0	0	0	0
緩和ケア内科	108,915	71,408	73,903	37,507	52.5	53,000	51,152	50,070	1,848
計	5,248,700	5,068,728	5,267,223	179,972	3.6	59,686	59,792	58,325	△ 106

年間入院診療収入は5,248,700千円で、前年度に比べ179,972千円(3.6%)増加している。
患者1人1日当たりの診療収入は59,686円で、前年度に比べ106円減少している。前年度に比べ増加した科は麻酔科、脳神経外科、産婦人科等で、減少した科はリウマチ科、泌尿器科、内科等である。

(5) 科別外来診療収入比較表

(単位：診療収入：千円・%、患者1人1日当たり診療収入：円)

科名	令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		患者1人1日当たり診療収入			
				増減 C(A-B)	率C/B	令和6年度 D	令和5年度 E	令和4年度	前年度との 比較 D-E
内科	450,361	499,636	538,387	△ 49,275	△ 9.9	16,561	17,623	16,469	△ 1,062
脳神経内科	38,556	31,637	28,625	6,919	21.9	8,002	6,146	5,635	1,856
消化器内科	223,894	245,752	247,883	△ 21,858	△ 8.9	17,919	19,534	17,401	△ 1,615
精神神経科	68,988	73,365	67,938	△ 4,377	△ 6.0	4,956	4,828	4,572	128
小児科	24,682	21,117	31,086	3,565	16.9	7,202	7,566	10,824	△ 364
外科	262,027	275,441	318,487	△ 13,414	△ 4.9	31,369	32,531	33,599	△ 1,162
胸部・血管外科	3,650	5,186	20,281	△ 1,536	△ 29.6	12,207	11,273	13,299	934
整形外科	77,263	74,735	89,811	2,528	3.4	7,358	7,587	8,246	△ 229
脳神経外科	25,407	30,106	31,322	△ 4,699	△ 15.6	8,880	9,306	9,127	△ 426
皮膚科	28,258	22,831	16,815	5,427	23.8	4,231	3,732	2,633	499
形成外科	7,914	9,135	12,388	△ 1,221	△ 13.4	2,596	2,775	3,518	△ 179
泌尿器科	231,794	268,533	182,433	△ 36,739	△ 13.7	22,936	26,627	17,921	△ 3,691
産婦人科	48,820	59,913	73,967	△ 11,093	△ 18.5	8,638	8,075	8,612	563
眼科	228,805	176,240	141,281	52,565	29.8	18,231	17,224	14,638	1,007
耳鼻咽喉科	18,355	18,029	21,457	326	1.8	8,707	8,743	8,610	△ 36
放射線科	71,828	70,343	78,407	1,485	2.1	22,453	20,455	21,353	1,998
歯科口腔外科	40,955	37,648	39,681	3,307	8.8	7,170	7,044	7,199	126
麻酔科	7,408	9,412	10,417	△ 2,004	△ 21.3	3,741	4,390	4,519	△ 649
リウマチ科	45,612	31,267	37,153	14,345	45.9	19,335	16,984	18,275	2,351
リハビリテーション科	69,141	72,519	65,808	△ 3,378	△ 4.7	2,773	3,045	2,992	△ 272
感染症内科	0	0	0	0	—	0	0	0	0
緩和ケア内科	2,404	418	552	1,986	475.1	6,497	2,922	4,027	3,575
計	1,976,122	2,033,263	2,054,179	△ 57,141	△ 2.8	12,156	12,550	11,974	△ 394

年間外来診療収入は1,976,122千円で、前年度に比べ57,141千円(△2.8%)減少している。

患者1人1日当たりの診療収入は12,156円で、前年度に比べ394円減少している。前年度に比べ増加した科は緩和ケア内科、リウマチ科、放射線科等で、減少した科は泌尿器科、消化器内科、外科等である。

(6) 手術及び検査状況

(単位：件・%)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較	
				増減C(A-B)	率C/B
手術件数	4,426	4,013	3,886	413	10.3
検査件数	1,370,940	1,323,213	1,405,722	47,727	3.6
X線件数	50,627	48,896	51,500	1,731	3.5

(注) X線件数のうちエコー件数は除く。

(7) 処方箋の状況

(単位：枚・%)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較	
				増減C(A-B)	率C/B
処方箋枚数	76,631	75,368	79,687	1,263	1.7
うち院外処方箋枚数	73,062	71,256	73,669	1,806	2.5
院外処方箋率	95.3	94.5	92.4	0.8	

(8) 調剤の状況

(単位：件・%)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較	
				増減C(A-B)	率C/B
入院患者調剤件数	85,210	85,665	81,070	△ 455	△ 0.5
外来患者調剤件数	8,129	9,996	14,040	△ 1,867	△ 18.7
計	93,339	95,661	95,110	△ 2,322	△ 2.4

(9) 給食の状況

(単位：食・%)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較	
				増減C(A-B)	率C/B
一般食数	136,684	121,664	112,030	15,020	12.3
特別食数	66,673	75,686	77,940	△ 9,013	△ 11.9
計	203,357	197,350	189,970	6,007	3.0

(注) 特別食はエネルギーコントロール食、たんぱくコントロール食などである。

(10) 部門別100床当たり職員数

(単位：人・%)

区 分	令和6年度		令和5年度		令和4年度		前年度との比較		全国平均 (令和5年度)
	職員数	100床当たり 職員数 A	職員数	100床当たり 職員数 B	職員数	100床当たり 職員数	増減 C(A-B)	率 C/B	
医師	67	18.3	67	18.0	65	17.4	0.3	1.7	15.9
看護部門	315	85.8	314	84.2	329	88.2	1.6	1.9	77.4
事務部門	25	6.8	25	6.7	25	6.7	0.1	1.5	9.3
薬剤部門	16	4.4	17	4.6	16	4.3	△ 0.2	△ 4.3	24.9
給食部門	5	1.4	6	1.6	6	1.6	△ 0.2	△ 12.5	
放射線部門	16	4.4	16	4.3	17	4.6	0.1	2.3	
検査部門	20	5.4	17	4.5	21	5.6	0.9	20.0	
その他職員	23	6.3	21	5.6	21	5.6	0.7	12.5	1.9
計	487	132.8	483	129.5	500	134.0	3.3	2.5	129.5

(注) 1 部門別100床当たり職員数 = $\frac{\text{部門別職員数}}{\text{病床数}} \times 100$

2 病床数は、令和6年7月16日以降、365床(精神病床8床減)、令和7年3月28日以降、343床(一般病床22床減)

3 職員数は、医師部門にはフルタイム会計年度任用職員、事務部門には診療情報管理士を含む。

100床当たりの職員数は132.8人で、前年度に比べ3.3人(2.5%)増加している。

(11) 職員（医師・看護部門）1人1日当たり患者数・診療収入比較表

(単位:人・円・%)

区 分		令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		全国平均 (令和5年度)	
					増減C(A-B)	率C/B		
患者数	医 師	入 院	3.3	3.1	3.5	0.2	6.5	3.4
		外 来	6.1	5.9	6.6	0.2	3.4	5.6
		計	9.4	9.0	10.1	0.4	4.4	9.0
	看護部門	入 院	0.6	0.6	0.6	0.0	—	0.8
		外 来	1.1	1.1	1.1	0.0	—	1.3
		計	1.7	1.7	1.7	0.0	—	2.1
診療収入		医 師	272,810	259,216	283,051	13,594	5.2	290,030
		看護部門	48,735	47,851	47,680	884	1.8	65,179

$$(注) 1 \text{ 職員1人1日当たり患者数} = \frac{\text{年間延入院(又は外来)患者数}}{\text{年間延医師(又は看護部門)数}}$$

2 「年間延医師(又は看護部門)数」は、年度中において在籍した医師(フルタイム会計年度任用職員及びパートタイム会計年度任用職員を含む。)の延数〔又は看護部門(フルタイム会計年度任用職員及びパートタイム会計年度任用職員を含む。)の延数〕である。

$$3 \text{ 職員1人1日当たり診療収入} = \frac{\text{入院・外来診療収入}}{\text{年間延医師(又は看護部門)数}}$$

職員1人1日当たりの患者数は、医師部門の入院及び外来の合計人数が9.4人で、前年度に比べ0.4人(4.4%)増加している。看護部門の入院及び外来の合計人数は1.7人で、前年度と同数である。

職員1人1日当たりの診療収入は、医師部門が272,810円で、前年度に比べ13,594円(5.2%)増加し、看護部門は48,735円で、前年度に比べ884円(1.8%)増加している。

(12) 検査の状況

区 分	単位	令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		全国平均 (令和5年度)
					増減C(A-B)	率C/B(%)	
患者100人当たり検査件数	件	547.3	536.2	536.8	11.1	2.1	590.4
検査技師1人当たり検査件数	件	68,547	77,836	66,939	△9,289	△11.9	62,887
検査技師1人当たり検査収入	千円	25,060	29,097	27,523	△4,037	△13.9	27,852

$$(注) 1 \text{ 患者100人当たり検査件数} = \frac{\text{年間検査件数}}{\text{年間延入院・外来患者数}} \times 100$$

$$2 \text{ 検査技師1人当たり検査収入} = \frac{\text{入院・外来検査収入}}{\text{検査技師数}}$$

患者100人当たりの検査件数は547.3件で、前年度に比べ11.1件(2.1%)増加している。検査技師1人当たりの検査件数は68,547件で、前年度に比べ9,289件(△11.9%)減少し、検査収入は25,060千円で、前年度に比べ4,037千円(△13.9%)減少している。

(13) 材料費

区	分	単位	令和6年度	令和5年度	令和4年度	前年度との比較		全国平均 (令和5年度)	
			A	B		増減 C(A-B)	率 C/B(%)		
薬品費	薬品費	千円	1,021,612	1,071,214	998,288	△ 49,602	△ 4.6		
	経常費用に占める割合	%	10.5	11.5	10.8	△ 1.0		11.8	
	医業収益に対する割合	%	13.7	14.6	13.1	△ 0.9		13.9	
	患者1人1日当たり薬品費	円	4,078	4,341	3,812	△ 263	△ 6.1	5,010	
	薬品使用効率	投薬	%	62.7	75.0	77.9	△ 12.3		96.4
		注射	%	80.6	81.7	80.1	△ 1.1		94.4
計		%	79.1	81.1	79.9	△ 2.0		94.8	
診療材料費	診療材料費	千円	676,705	645,589	688,235	31,116	4.8		
	経常費用に占める割合	%	7.0	6.9	7.4	0.1		9.4	
	医業収益に対する割合	%	9.1	8.8	9.0	0.3		11.1	
給食材料費	給食材料費	千円	73,098	66,936	65,460	6,162	9.2		
	経常費用に占める割合	%	0.8	0.7	0.7	0.1		0.3	
	医業収益に対する割合	%	1.0	0.9	0.9	0.1		0.4	
	患者1人1日当たり給食材料費	円	831	790	725	41	5.2	394	
	患者1人1日当たり給食収入	円	1,620	1,574	1,562	46	2.9	1,503	
計		千円	1,771,415	1,783,739	1,751,983	△ 12,324	△ 0.7		

(注) 1 薬品使用効率 = $\frac{\text{薬品収入}}{\text{薬品費}} \times 100$

2 診療材料費には、医療消耗備品を含む。

ア 薬品費

薬品費は1,021,612千円で、前年度に比べ49,602千円(△4.6%)減少している。

患者1人1日当たりの薬品費は4,078円で、前年度に比べ263円(△6.1%)減少している。

また、経常費用に占める割合は10.5%で、前年度に比べ1.0ポイント低下し、医業収益に対する割合は13.7%で、前年度に比べ0.9ポイント低下している。

イ 診療材料費

診療材料費は676,705千円で、前年度に比べ31,116千円(4.8%)増加している。

また、経常費用に占める割合は7.0%で、前年度に比べ0.1ポイント上昇し、医業収益に対する割合は9.1%で、前年度に比べ0.3ポイント上昇している。

ウ 給食材料費

給食材料費は73,098千円で、前年度に比べ6,162千円(9.2%)増加している。

入院患者1人1日当たりの給食材料費は831円で、前年度に比べ41円(5.2%)増加し、給食収入は1,620円で、前年度に比べ46円(2.9%)増加している。

また、経常費用に占める割合は0.8%、医業収益に対する割合は1.0%で、前年度に比べそれぞれ0.1ポイント上昇している。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出（消費税込み）

各科目の予算の執行状況は、下表のとおりである。

(単位:千円・%)

区 分		予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	予算額に対する 増減 B+C-A 又は不用額 A-B-C	執行率 B/A	備 考	
収 入	1 医業収益	8,595,681	7,489,872		△ 1,105,809	87.1	仮受消費税	15,750
	2 医業外収益	1,095,650	1,065,545		△ 30,105	97.3	仮受消費税	2,963
	3 特別利益	1	0		△ 1	0.0		
	計	9,691,332	8,555,417		△ 1,135,915	88.3	仮受消費税	18,713
支 出	1 医業費用	9,849,612	9,458,814	0	390,798	96.0	仮払消費税	233,444
	2 医業外費用	299,366	248,264	0	51,102	82.9		
	3 特別損失	141	0	0	141	0.0		
	4 予備費	0	0	0	0	—		
	計	10,149,119	9,707,078	0	442,041	95.6	仮払消費税	233,444
収支差引額		△ 457,787	△ 1,151,661					

ア 収益的収入

予算額 9,691,332 千円に対し、決算額は 8,555,417 千円（仮受消費税 18,713 千円を含む。）で、執行率 88.3%、1,135,915 千円の収入減である。

これは主に、医業収益が減少したことによるものである。

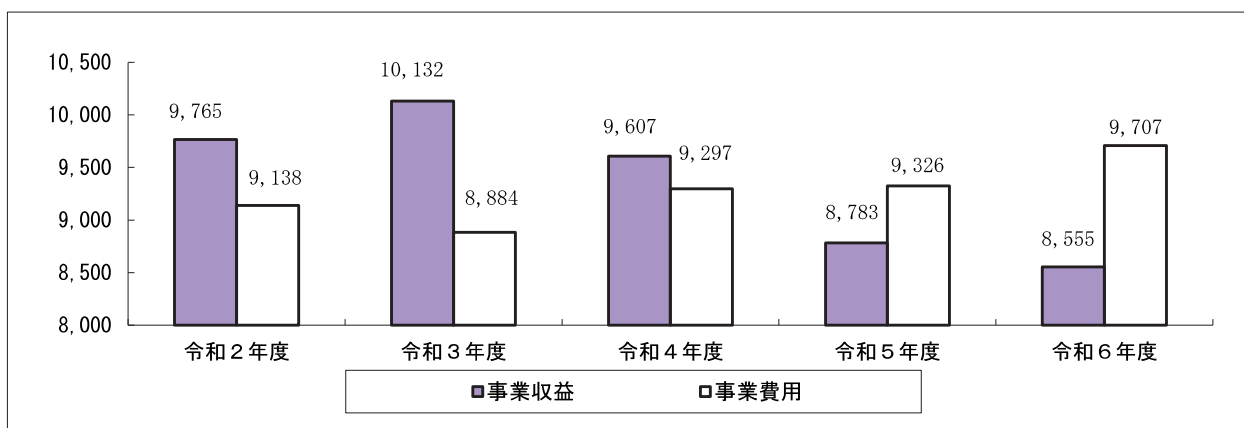
イ 収益的支出

予算額 10,149,119 千円に対し、決算額は 9,707,078 千円（仮払消費税 233,444 千円を含む。）で、執行率 95.6%、442,041 千円の不用額が生じている。

これは主に、医業費用に不用額が生じたことによるものである。

収益的収入及び支出決算額の推移

(単位:百万円)



(2) 資本的収入及び支出(消費税込み)

各科目の予算の執行状況は、下表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分		予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	予算額に対する 増減 B+C-A 又は不用額 A-B-C	執行率 B/A	備 考
収 入	1 企業債	819,000	502,500		△ 316,500	61.4	
	2 出資金	310,543	310,542		△ 1	100.0	
	3 固定資産売却収入	1,050	0		△ 1,050	—	
	4 補助金	11,770	11,391		△ 379	96.8	
	計	1,142,363	824,433		△ 317,930	72.2	
支 出	1 建設改良費	915,364	547,332	255,628	112,404	59.8	仮払消費税 49,757
	2 企業債償還金	1,078,304	1,078,303	0	1	100.0	
	3 投資及び出資金	1,050	323	0	727	30.8	
	計	1,994,718	1,625,958	255,628	113,132	81.5	仮払消費税 49,757
収支差引額		△ 852,355	△ 801,525				

ア 資本的収入

予算額 1,142,363 千円に対し、決算額は 824,433 千円で、執行率 72.2%、317,930 千円の収入減である。

これは主に、企業債が減少したことによるものである。

イ 資本的支出

予算額 1,994,718 千円に対し、決算額は 1,625,958 千円（仮払消費税 49,757 千円を含む。）で、執行率 81.5%、翌年度繰越額 255,628 千円を差し引くと 113,132 千円の不用額が生じている。

これは主に、建設改良費に不用額が生じたことによるものである。

ウ 補てん財源

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 801,525 千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 770,304 千円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,221 千円並びに繰越工事資金 30,000 千円で補てんされている。

(3) その他の事項

ア 企業債

起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、予算の定めに従って行われていた。

イ 一時借入金

一時借入金の限度額は1,000,000千円であるが、借入額はその範囲内であった。

ウ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

この経費は職員給与費及び交際費であり、他の経費との間における流用はなかった。

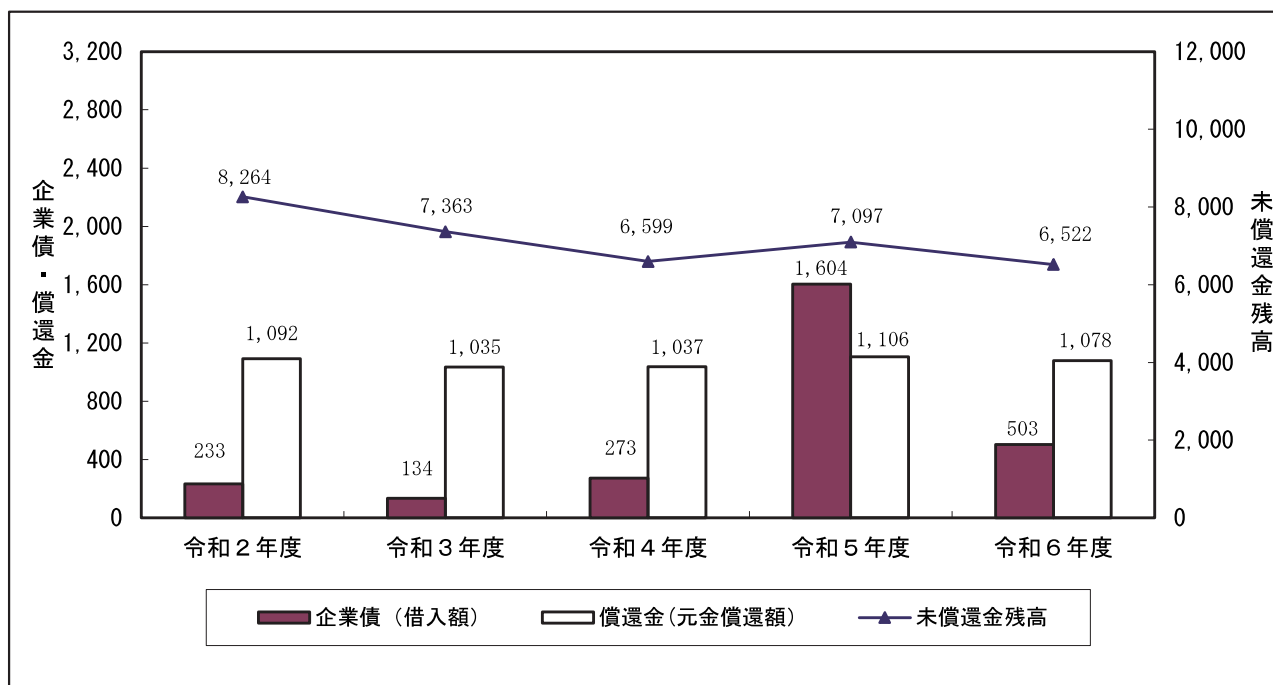
エ 他会計からの補助金

一般会計からの補助金は、予算の範囲内であった。

オ たな卸資産の購入状況

予算に定められたたな卸資産の購入限度額は1,319,325千円で、購入額はその範囲内であった。

企業債（借入額）、償還金（元金償還額）及び未償還金残高の推移 (単位：百万円)



3 経営状況

経営状況は、下表のとおりである。

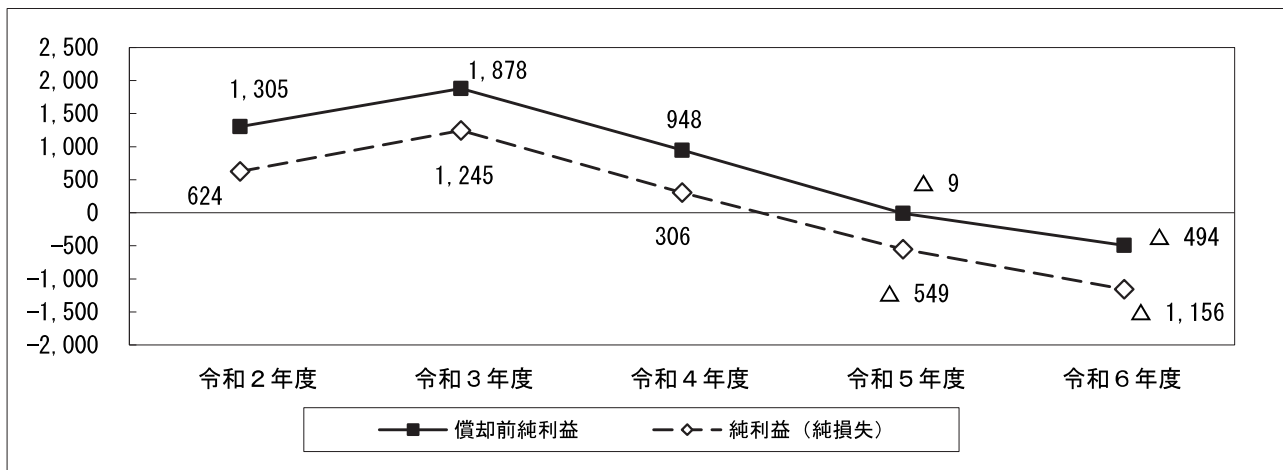
損益比較表

(単位:千円・%)

区 分	令和6年度		令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		
	金額 A	構成比			増減C(A-B)	率C/B	
収 益	1 医業収益 (ア)	7,474,122	87.6	7,356,557	7,605,314	117,565	1.6
	2 医業外収益 (イ)	1,062,582	12.4	1,409,579	1,983,184	△ 346,997	△ 24.6
	3 特別利益 (ウ)	0	0.0	0	0	0	—
	計	8,536,704	100.0	8,766,136	9,588,498	△ 229,432	△ 2.6
費 用	1 医業費用 (エ)	9,225,370	95.2	8,747,280	8,788,427	478,090	5.5
	2 医業外費用 (オ)	466,954	4.8	567,725	494,011	△ 100,771	△ 17.7
	3 特別損失 (カ)	0	0.0	0	0	0	—
	計	9,692,324	100.0	9,315,005	9,282,438	377,319	4.1
医業収支 (ア)－(エ) a		△ 1,751,248		△ 1,390,723	△ 1,183,113	△ 360,525	△ 25.9
医業外収支 (イ)－(オ) b		595,628		841,854	1,489,173	△ 246,226	△ 29.2
経常収支 (a+b) c		△ 1,155,620		△ 548,869	306,060	△ 606,751	△ 110.5
特別収支 (ウ)－(カ) d		0		0	0	0	—
当年度純利益(△損失) c + d		△ 1,155,620		△ 548,869	306,060	△ 606,751	△ 110.5

償却前純利益と純利益(純損失)の推移

(単位:百万円)



収益8,536,704千円に対し、費用は9,692,324千円で、1,155,620千円の当年度純損失が生じている。

前年度に比べ606,751千円(△110.5%)の減益である。

(1) 収益の部

収益の内訳は、下表のとおりである。

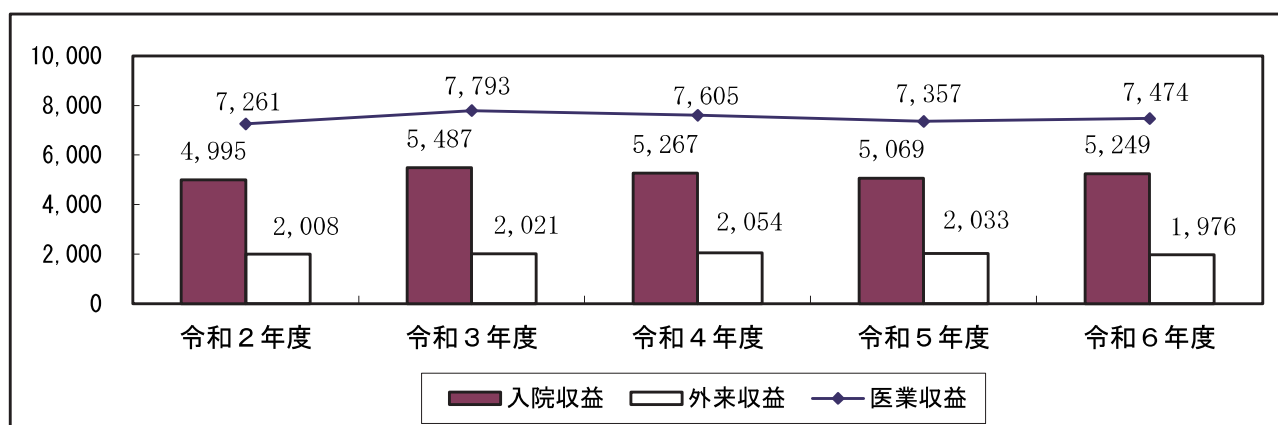
収益内訳表

(単位:千円・%)

区 分	令和6年度		令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		
	金額 A	構成比			増減C (A-B)	率C/B	
収 入	1 医業収益	7,474,122	87.6	7,356,557	7,605,314	117,565	1.6
	(1) 入院収益	5,248,700	61.5	5,068,728	5,267,223	179,972	3.6
	(2) 外来収益	1,976,122	23.2	2,033,263	2,054,179	△ 57,141	△ 2.8
	(3) その他医業収益	249,300	2.9	254,566	283,912	△ 5,266	△ 2.1
益	2 医業外収益	1,062,582	12.4	1,409,579	1,983,184	△ 346,997	△ 24.6
	(1) 受取利息及び配当金	0	0.0	0	0	0	—
	(2) 他会計補助金	956,135	11.2	1,311,236	1,885,816	△ 355,101	△ 27.1
	(3) 長期前受金戻入	67,696	0.8	62,449	56,679	5,247	8.4
	(4) その他医業外収益	38,751	0.4	35,894	40,689	2,857	8.0
3 特別利益	0	0.0	0	0	0	—	
(1) その他特別利益	0	0.0	0	0	0	—	
計	8,536,704	100.0	8,766,136	9,588,498	△ 229,432	△ 2.6	

医業収益の推移

(単位:百万円)



ア 医業収益

医業収益は7,474,122千円で、前年度に比べ117,565千円(1.6%)増加している。これは主に、入院収益が増加したことによるものである。

イ 医業外収益

医業外収益は1,062,582千円で、前年度に比べ346,997千円(△24.6%)減少している。これは主に、他会計補助金が減少したことによるものである。

ウ 特別利益

なし

(2) 費用の部

費用の内訳は、下表のとおりである。

費用内訳表

(単位:千円・%)

区 分		令和6年度		令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較	
		金額 A	構成比			増減C(A-B)	率C/B
費 用	1 医業費用	9,225,370	95.2	8,747,280	8,788,427	478,090	5.5
	(1) 給与費	5,163,849	53.3	4,866,782	4,836,945	297,067	6.1
	(2) 材料費	1,771,415	18.3	1,783,739	1,751,983	△ 12,324	△ 0.7
	薬品費	1,021,612	10.5	1,071,214	998,288	△ 49,602	△ 4.6
	診療材料費	671,303	6.9	641,466	684,712	29,837	4.7
	給食材料費	73,098	0.8	66,936	65,460	6,162	9.2
	医療消耗備品	5,402	0.1	4,123	3,523	1,279	31.0
	(3) 経費	1,604,971	16.6	1,531,480	1,535,069	73,491	4.8
	(4) 減価償却費	661,606	6.8	539,594	641,739	122,012	22.6
	(5) その他	23,529	0.2	25,685	22,691	△ 2,156	△ 8.4
	2 医業外費用	466,954	4.8	567,725	494,011	△ 100,771	△ 17.7
	(1) 支払利息	92,169	1.0	104,639	122,047	△ 12,470	△ 11.9
	(2) 長期前払消費税償却	0	0.0	0	0	0	—
	(3) その他医業外費用	374,785	3.8	463,086	371,964	△ 88,301	△ 19.1
3 特別損失	0	0.0	0	0	0	—	
(1) その他特別損失	0	0.0	0	0	0	—	
計		9,692,324	100.0	9,315,005	9,282,438	377,319	4.1

ア 医業費用

医業費用は9,225,370千円で、前年度に比べ478,090千円(5.5%)増加している。
これは主に、給与費及び減価償却費が増加したことによるものである。

イ 医業外費用

医業外費用は466,954千円で、前年度に比べ100,771千円(△17.7%)減少している。
これは、その他医業外費用及び支払利息が減少したことによるものである。

ウ 特別損失

なし

4 財政状況

資産、負債及び資本の内訳は、下表のとおりである。

主要勘定貸借比較表

(単位：千円・%)

区 分		令和6年度		令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		
		金額 A	構成比			増減C(A-B)	率C/B	
借 方	資 産	1 固定資産	8,724,665	86.0	8,894,782	7,953,990	△ 170,117	△ 1.9
		2 流動資産	1,414,714	14.0	2,635,867	3,274,464	△ 1,221,153	△ 46.3
	資産合計		10,139,379	100.0	11,530,649	11,228,454	△ 1,391,270	△ 12.1
貸 方	負 債	1 固定負債	5,129,005	50.6	6,019,125	5,493,028	△ 890,120	△ 14.8
		2 流動負債	2,884,516	28.4	2,483,253	2,190,819	401,263	16.2
		3 繰延収益	477,682	4.7	532,845	561,819	△ 55,163	△ 10.4
		負債合計		8,491,203	83.7	9,035,223	8,245,666	△ 544,020
	資 本	4 資本金	12,337,054	121.7	12,028,684	11,967,177	308,370	2.6
		5 剰余金	△ 10,688,878	△ 105.4	△ 9,533,258	△ 8,984,389	△ 1,155,620	△ 12.1
		資本合計		1,648,176	16.3	2,495,426	2,982,788	△ 847,250
負債・資本合計		10,139,379	100.0	11,530,649	11,228,454	△ 1,391,270	△ 12.1	

(1) 資産の部

資産の内訳は、下表のとおりである。

資産内訳表

(単位：千円・%)

区 分		令和6年度		令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		
		金額 A	構成比			増減C(A-B)	率C/B	
借 方 資 産	資 産	1 固定資産	8,724,665	86.0	8,894,782	7,953,990	△ 170,117	△ 1.9
		(1)有形固定資産	8,719,986	86.0	8,890,426	7,949,676	△ 170,440	△ 1.9
		土地	1,114,298	11.0	1,114,298	1,114,298	0	—
		建物	5,586,003	55.1	5,667,233	5,687,698	△ 81,230	△ 1.4
		構築物	24,218	0.2	24,218	24,218	0	—
		器械及び備品	1,994,577	19.7	2,070,922	1,122,455	△ 76,345	△ 3.7
		車両	890	0.0	1,163	557	△ 273	△ 23.5
		建設仮勘定	0	0.0	12,592	450	△ 12,592	皆減
		(2)投資	4,679	0.0	4,356	4,314	323	7.4
		長期前払消費税	0	0.0	0	0	0	—
		その他投資	4,679	0.0	4,356	4,314	323	7.4
		2 流動資産	1,414,714	14.0	2,635,867	3,274,464	△ 1,221,153	△ 46.3
		(1)現金及び預金	448,200	4.5	1,612,121	1,814,181	△ 1,163,921	△ 72.2
		(2)未収金	932,724	9.2	989,818	1,427,760	△ 57,094	△ 5.8
		(3)貸倒引当金	△ 5,792	△ 0.1	△ 5,246	△ 5,323	△ 546	△ 10.4
		(4)貯蔵品	39,211	0.4	38,803	35,122	408	1.1
		(5)前払金	371	0.0	371	2,724	0	—
資 産 合 計		10,139,379	100.0	11,530,649	11,228,454	△ 1,391,270	△ 12.1	

ア 固定資産

固定資産は8,724,665千円で、前年度に比べ170,117千円(△1.9%)減少している。
これは主に、建物、器械及び備品が減少したことによるものである。

イ 流動資産

流動資産は1,414,714千円で、前年度に比べ1,221,153千円(△46.3%)減少している。
これは主に、現金及び預金が減少したことによるものである。

また、貯蔵品の状況について、たな卸検査を実施したところ、適正に管理されていた。

有形固定資産明細書

(単位：千円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減価償却累計額			年度末 償却未済高
					当年度 増加額	当年度 減少額	累計	
土地	1,114,298	0	0	1,114,298	0	0	0	1,114,298
建物	18,298,155	211,710	0	18,509,865	292,940	0	12,923,862	5,586,003
構築物	484,361	0	0	484,361	0	0	460,143	24,218
器械及び備品	6,869,006	298,456	128,161	7,039,301	368,393	121,753	5,044,724	1,994,577
車両	11,744	0	0	11,744	273	0	10,854	890
建設仮勘定	12,592	0	12,592	0	0	0	0	0
合 計	26,790,156	510,166	140,753	27,159,569	661,606	121,753	18,439,583	8,719,986

未収金の状況

(単位：千円)

区 分	令和6年度末現在高			令和5年度末現在高 B	増減 A-B
	過年度分	令和6年度分	計 A		
医業未収金	42,316 (0)	870,981 (12,561)	913,297 (12,561)	897,553 (12,712)	15,744 (△ 151)
医業外未収金	0	19,427	19,427	92,265	△ 72,838
合 計	42,316	890,408	932,724	989,818	△ 57,094

(注) 1 令和6年度分医業未収金のうち、保険者負担分は2月調定分、3月調定分を含む(調定から2か月後に入金)。

2 ()内は、クレジットカード分

(2) 負債及び資本の部

負債及び資本の内訳は、下表のとおりである。

負債・資本内訳表

(単位：千円・%)

区分	令和6年度		令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		
	金額 A	構成比			増減C(A-B)	率C/B	
貸 借	1 固定負債	5,129,005	50.6	6,019,125	5,493,028	△ 890,120	△ 14.8
	(1)企業債	5,129,005	50.6	6,019,125	5,493,028	△ 890,120	△ 14.8
	(2)引当金	0	0.0	0	0	0	—
	2 流動負債	2,884,516	28.4	2,483,253	2,190,819	401,263	16.2
	(1)企業債	1,392,620	13.7	1,078,303	1,106,420	314,317	29.1
	(2)未払金	1,101,076	10.9	1,059,159	753,585	41,917	4.0
	(3)引当金	359,195	3.5	315,110	301,205	44,085	14.0
	(4)預り金	31,625	0.3	30,681	29,609	944	3.1
	3 繰延収益	477,682	4.7	532,845	561,819	△ 55,163	△ 10.4
	(1)長期前受金	1,226,748	12.1	1,214,215	1,180,740	12,533	1.0
(2)長期前受金収益化累計額	△ 749,066	△ 7.4	△ 681,370	△ 618,921	△ 67,696	△ 9.9	
負債合計	8,491,203	83.7	9,035,223	8,245,666	△ 544,020	△ 6.0	
資 本	4 資本金	12,337,054	121.7	12,028,684	11,967,177	308,370	2.6
	(1)自己資本金	12,337,054	121.7	12,028,684	11,967,177	308,370	2.6
	5 剰余金	△ 10,688,878	△ 105.4	△ 9,533,258	△ 8,984,389	△ 1,155,620	△ 12.1
	(1)欠損金	△ 10,688,878	△ 105.4	△ 9,533,258	△ 8,984,389	△ 1,155,620	△ 12.1
	当年度未処理欠損金	△ 10,688,878	△ 105.4	△ 9,533,258	△ 8,984,389	△ 1,155,620	△ 12.1
資本合計	1,648,176	16.3	2,495,426	2,982,788	△ 847,250	△ 34.0	
負債・資本合計	10,139,379	100.0	11,530,649	11,228,454	△ 1,391,270	△ 12.1	

ア 固定負債

固定負債は5,129,005千円で、前年度に比べ890,120千円(△14.8%)減少している。
これは、企業債が減少したことによるものである。

イ 流動負債

流動負債は2,884,516千円で、前年度に比べ401,263千円(16.2%)増加している。
これは主に、企業債が増加したことによるものである。

ウ 繰延収益

繰延収益は477,682千円で、前年度に比べ55,163千円(△10.4%)減少している。

エ 資本金

資本金は12,337,054千円で、前年度に比べ308,370千円(2.6%)増加している。

オ 剰余金

剰余金は△10,688,878千円で、前年度に比べ1,155,620千円(△12.1%)減少している。
これは、当年度未処理欠損金が増加したことによるものである。

5 他会計補助金等の状況

一般会計からの補助金等については、下表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分		令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	前年度との比較		
					増減C(A-B)	率C/B	
収益的 収入	補助 金	救急医療	68,537	68,537	68,537	0	—
		企業債償還利子	59,443	69,164	80,848	△ 9,721	△ 14.1
		結核病床運営費	42,640	51,217	47,810	△ 8,577	△ 16.7
		精神病床運営費	184,969	184,803	176,083	166	0.1
		高度医療	453,438	444,644	429,490	8,794	2.0
		感染症病床運営費	31,882	31,882	31,882	0	—
		医師等研究研修費	8,571	9,207	8,961	△ 636	△ 6.9
		共済費追加費用	13,656	15,830	15,667	△ 2,174	△ 13.7
		基礎年金拠出金公的負担経費	101,743	0	0	101,743	皆増
		児童手当に要する経費	27,090	21,315	20,950	5,775	27.1
		認知症疾患医療センター運営費	1,388	2,272	1,690	△ 884	△ 38.9
		病院群輪番制運営費	13,206	13,206	13,050	0	—
		経営強化プラン策定事業費	0	2,000	0	△ 2,000	皆減
		新型コロナウイルス対策事業費	0	20,000	7,608	△ 20,000	皆減
		電力等価格高騰対策事業費	11,190	16,785	43,813	△ 5,595	△ 33.3
		デジタル田園都市国家構想交付金	1,115	0	0	1,115	皆増
計	1,018,868	950,862	946,389	68,006	7.2		
資本的 収入	出資 金	企業債償還元金	305,870	59,007	57,266	246,863	418.4
		医療機器購入費	4,672	10,475	88,063	△ 5,803	△ 55.4
		施設改良費	0	30,000	0	△ 30,000	皆減
		計	310,542	99,482	145,329	211,060	212.2
合 計		1,329,410	1,050,344	1,091,718	279,066	26.6	

他会計補助金等は1,329,410千円で、前年度に比べ279,066千円(26.6%)増加している。

このうち収益的収入は1,018,868千円で、前年度に比べ68,006千円(7.2%)増加し、資本的収入は310,542千円で、前年度に比べ211,060千円(212.2%)増加している。

6 キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	増減 A-B
1 営業活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	△ 1,155,619,769	△ 548,869,282	△ 606,750,487
減価償却費	661,605,818	539,594,113	122,011,705
引当金の増加額 (△減少)	44,631,000	13,828,000	30,803,000
長期前受金戻入額	△ 67,695,822	△ 62,448,645	△ 5,247,177
固定資産除却損・売却益	6,408,075	7,689,011	△ 1,280,936
受取利息収入 (△)	0	0	0
支払利息	92,168,642	104,639,100	△ 12,470,458
未収金の増加 (△)・減少額	△ 3,975,655	503,741,483	△ 507,717,138
未払金の増加・減少 (△) 額	△ 1,818,156	38,241,097	△ 40,059,253
たな卸資産の増加 (△)・減少額	△ 408,138	△ 3,680,951	3,272,813
長期前払消費税	0	0	0
その他の流動資産の増加 (△)・減少額	318	△ 62,524	62,842
その他の流動負債の増加・減少 (△) 額	944,170	1,072,057	△ 127,887
小 計	△ 423,759,517	593,743,459	△ 1,017,502,976
利息受取額	0	0	0
利息支払額	△ 92,168,642	△ 104,639,100	12,470,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 515,928,159	489,104,359	△ 1,005,032,518
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産取得・建設改良実施額	△ 497,574,380	△ 1,488,032,642	990,458,262
固定資産取得・建設改良実施に係る補助金等収入	11,391,000	0	11,391,000
固定資産売却収入	0	0	0
一般会計からの繰入金	309,512,000	94,982,000	214,530,000
投資	△ 323,000	△ 42,000	△ 281,000
投資活動に伴う前払金等の債権の増加 (△)・減少額	△ 4,730,000	2,416,000	△ 7,146,000
投資活動に伴う未払金等の債務の増加・減少 (△) 額	191,089,834	119,977,808	71,112,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,365,454	△ 1,270,698,834	1,280,064,288
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入れによる収入	500,000,000	0	500,000,000
一時借入れの返済による支出	△ 500,000,000	0	△ 500,000,000
建設改良等に係る企業債償還による支出	△ 1,078,303,160	△ 1,106,420,539	28,117,379
建設改良等に係る企業債による収入	502,500,000	1,604,400,000	△ 1,101,900,000
財務活動に伴う前払金等の債権の増加 (△)・減少額	65,800,000	△ 65,800,000	131,600,000
財務活動に伴う未払金等の債務の増加・減少 (△) 額	△ 147,354,983	147,354,983	△ 294,709,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 657,358,143	579,534,444	△ 1,236,892,587
4 資金増加額	△ 1,163,920,848	△ 202,060,031	△ 961,860,817
5 資金期首残高	1,612,120,855	1,814,180,886	△ 202,060,031
6 資金期末残高	448,200,007	1,612,120,855	△ 1,163,920,848

7 経営分析

分析項目		令和 6年度	令和 5年度	令和 4年度	全国平均 (令和5年度)	算式	
構成比率	固定資産 構成比率	%	86.0	77.1	70.8	67.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延資産}} \times 100$
	総資産の固定化の割合を表すもので、比率の低い方が望ましい。						
	固定負債 構成比率	%	50.6	52.2	48.9	46.8	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$
固定負債と総資本との割合を表すもので、比率の低い方が望ましい。							
構成比率	自己資本 構成比率	%	21.0	26.3	31.6	39.4	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$
	総資本のうち自己資本の占める割合を示したもので、比率の高い方が望ましい。						
財務比率	固定比率	%	—	—	—	171.8	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$
	固定資産と自己資本との割合で資本固定化の程度を示すものであり、100%以下であることが望ましい。						
	固定資産対 長期資本比率	%	120.3	98.3	88.0	78.5	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$
固定資産と長期資本との割合で資本固定化の程度を示すものであり、100%以下であることが望ましい。							
財務比率	流動比率	%	49.0	106.1	149.5	234.8	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
	企業の支払能力を見るもので、この比率が大きいくほど支払能力が高いとされている。						
回転率	自己資本 回転率	回転	—	—	—	1.4	$\left(\frac{\text{医業収益}}{\frac{\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本}}{2}} \right)$
	自己資本の働きを観察したもので、数値が大きいくほど資本が効率的に使われていることを示す。						
	流動資産 回転率	回転	3.7	2.5	2.3	1.7	$\left(\frac{\text{医業収益}}{\frac{\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産}}{2}} \right)$
流動資産の使用利用度を表すもので、数値が高いほど運用形態が良好なことを示す。							
回転率	未収金回転率	回転	7.8	6.1	5.8	5.0	$\left(\frac{\text{医業収益}}{\frac{\text{期首未収金}+\text{期末未収金}}{2}} \right)$
	未収金の回収度を測定するもので、数値が高ければ未収金の回収速度が良好なことを示す。						
収益率	総収支比率	%	88.1	94.1	103.3	96.1	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
	総収益と総費用との割合で、営業活動の能率を表すものであり、比率の高い方が望ましい。						
	医業収支比率	%	81.0	84.1	86.5	88.1	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$
医業収益と医業費用との割合で営業活動の能率を表すものであり、この比率が高いほど経営状態が良好なことを示す。							
収益率	総資本利益率	%	△10.7	△4.8	2.7	0.4	$\left(\frac{\text{当年度経常利益(損失)}}{\frac{\text{期首総資本}+\text{期末総資本}}{2}} \right) \times 100$
	経常利益と総資本との割合で、企業全体の収益性を表すものであり、比率の高い方が望ましい。						

分析項目		令和6年度	令和5年度	令和4年度	全国平均 (令和5年度)	算式			
その他	医業収益に対する 職員給与費の割合	%	65.3	62.6	59.9	57.3	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$		
		医業収益に対する職員給与費の割合であり、比率が低ければ効率的な運営であることを示す。							
	医業費用に対する 職員給与費の割合	%	52.9	52.6	51.8	48.4	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業費用}} \times 100$		
		医業費用に占める職員給与費の割合であり、比率が低ければ効率的な運営であることを示す。							
	病床利用率		%	65.6	62.1	66.3	68.0	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	
				一般病床	72.2	66.5	71.3		69.5
				結核病床	0.3	25.0	49.8		20.6
				精神病床	47.2	51.5	48.0		54.5
				感染症病床	0.0	0.0	0.0		15.8
	ベッドがどれだけ利用されたかを示すものであり、比率が高ければ利用効率が良好なことを示す。								
1日平均 患者数	入院	人	240.9	231.6	247.4	230.0	$\frac{\text{年間延入院患者数}}{\text{入院診療日数}}$		
	外来		669.0	666.7	706.0	562.0	$\frac{\text{年間延外来患者数}}{\text{外来診療日数}}$		
1年間を通じての1日平均患者数であり、数値が高ければ収益面で良好なことを示す。									
患者1人1日当たり診療収入		円	28,841	28,777	27,960	32,287	$\frac{\text{入院・外来収益}}{\text{年間延入院・外来患者数}}$		
			入院	59,686	59,792	58,325	58,068	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年間延入院患者数}}$	
			外来	12,156	12,550	11,974	16,620	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年間延外来患者数}}$	
患者1人1日当たりの平均の診療収入であり、数値が高ければ収益面で良好なことを示す。									
薬品使用効率	投薬薬品	%	62.7	75.0	77.9	96.4	$\frac{\text{薬品収入(投薬分)}}{\text{投薬用薬品費}} \times 100$		
	注射薬品		80.6	81.7	80.1	94.4	$\frac{\text{薬品収入(注射分)}}{\text{注射用薬品費}} \times 100$		
薬品費に対する薬品収入の割合を示すものであり、比率の100%を超える部分が利益の大きさを示しており、この比率が高ければ収益面で良好なことを示す。									

- (注) 1 各比率の算出方法及び計算の際に用いた基礎数値は、総務省自治財政局編地方公営企業年鑑の例による。
2 全国平均は、総務省自治財政局編「令和5年度地方公営企業年鑑」の数値である。
構成比率から収益率までの項目は、経営主体が市である公立病院の数値である。また、その他の項目は、300以上400未満のベッド数を所有する公立病院の数値である。
3 自己資本＝資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益
4 総資本＝負債・資本合計